

# 貫井の風

令和2年度

## 臨時号

練馬区立貫井中学校 学校だより

### 令和二年度・学校評価に関わる 保護者・生徒・教員アンケート結果

学校評価に関わるアンケートのご協力、大変ありがとうございました。

いただいたアンケートを分析し、分析結果に対して学校関係者評価委員の方々からもご意見をいただき、令和3年度の教育活動にいかしていきます。

今年度のアンケート数は生徒（366）、保護者（308）、教員（18）でした。

\*以下の数値は各質問項目の、④とても思う、③思うを合わせて%で表した数値です。  
また、分析及び今後の方向性や改善策を記載しています。

#### (1) ～ (5) 学力向上

(1) 落ち着いた雰囲気や環境のなかで、授業が行われていると思いますか。

生徒	保護者	教員
65%	60%	67%

(2) 学校の授業により生徒に基礎・基本が身に付いていると思いますか。

生徒	保護者	教員
82%	67%	78%

(3) ICT機器を効果的に利用し、生徒の学習が深まっていると思いますか。

生徒	保護者	教員
77%	40%	72%

(4) 道徳授業を通して生命を大切にする心や思いやりの心などが育っていると思いますか。

生徒	保護者	教員
83%	81%	61%

(5) 補習や課題、ワークシートやその他の課題を通じて、各教科の学力補充が行われていると思いますか。

生徒	保護者	教員
80%	63%	73%

#### ○学力向上について

落ち着いた雰囲気や環境の中で生徒が学習に取り組んでいるという数値がやや低いことが気になる。今後も課題として注視したい。

生徒は学習に意欲的に取り組み、授業を通して基礎・基本を定着させているという意識があるが、教員や保護者の数値の方が低い。

今後は ICT 機器の活用を工夫した授業方法の改善、課題への取り組み方等の工夫を加えていく必要がある。また、学校では学力補充についてさまざまな方法で各教科とも取り組んでいる。しかし、その状況が保護者に伝わりにくいのかもしれない。学力補充とは単に放課後等の補習（授業）等だけではなく、生徒が自主的に家庭で取り組む課題の提示や生徒が先生に質問をする機会等も含めた取組と認識している。その点についてはご理解を頂きたい。



## 健全育成（６）～（１１）

（６）生徒は楽しい学校生活を送っていると思いますか。

生徒	保護者	教員
91%	90%	100%

（７）学校の教育活動を通じて、礼儀や言葉遣い、あいさつの習慣がしっかり身に付いていると思いますか。

生徒	保護者	教員
93%	93%	88%

（８）生徒の悩みや心配事について相談しやすい雰囲気ですか。

生徒	保護者	教員
54%	57%	61%

（９）部活動が計画的に実施され、生徒の自己肯定感を高めるものとなっていますか。

生徒	保護者	教員
80%	76%	100%

（１０）学校の施設・設備、環境は、安全できれいだと思いますか。

生徒	保護者	教員
76%	87%	88%

（１１）生徒会・委員会・当番活動（学校行事）を通じて、生徒の自主的に取り組む態度が育まれていると思いますか。

生徒	保護者	教員
86%	89%	84%

### ○健全育成について

多くの生徒が学校生活を楽しいと感じている。保護者や教員の数値からもその実態が理解できる。学校が楽しいことは大変良いことで嬉しい。

また、生徒たちは大きな声での挨拶等の生活習慣を身に付け、さらに、生徒会活動や諸活動、そして部活動を通じて主体的に取り組む姿勢や態度を育みながら学校生活を送り、自己肯定感を高めていると考える。ただし、今年度のようにコロナウィルス感染症予防対策等により、学校行事、部活動、その他等で生徒の活躍の場や、成長していく機

会を失ったことは大変痛いことである。

学校の施設設備、環境等の整備には用務担当業者による尽力が大きい。学校としてそれに甘えているだけでなく、生徒の諸活動の取組の結果として環境が整えられているという成果も今後は期待し、取組を考えていきたい。

悩み相談等にはやや課題があると捉える。学校・教員サイドが、生徒が相談しやすい雰囲気や環境づくりを視野に入れ、その上で、生徒の悩みに耳を傾け、力を注いでいく。同時に学校と家庭との連絡や連携を図り、協力しながら悩みや相談等に対応していく。



## キャリア教育（12）～（14）

（12）進路学習は、生徒が将来を考えるきっかけとなっていますか。

生徒	保護者	教員
71%	59%	78%

（13）進路だより等を通じて、進路選択に関わる情報が学校から適切に提供されていると思いますか。

生徒	保護者	教員
69%	58%	78%

（14）学校はさまざまな取組を通じて生徒の規範意識や社会性、危機管理意識を育てていますか。

生徒	保護者	教員
75%	75%	89%

### ○キャリア教育について

進路だより等を通じてさまざまな情報提供を学校として行う機会は、前年度に比較しかなり増えてきたと考えている。特に進路だより「エール」の定期的な発行は学校として一歩前進したと考える。今後も生徒や保護者の方々のニーズを捉えながら、進路指導・キャリア教育に関わる情報提供について、さらに充実を図る方向で考えたい。

キャリア教育・進路指導について、前年度貫井中学校の取組を体系化し、学年ごとに資料でお示ししました。学校ではキャリア教育としてどのようなことに取り組んでいるのか。保護者や地域の方々に3年間の学びのようすを今後も情報提供していきたい。また、各学年のキャリア教育の内容については発達段階に応じ、毎年のプログラムの見直し、改善をしていく。

今年度はコロナ禍により、多くの取組予定を中止せざるを得なかった。やはり机上の学びだけでなく、体験的な活動が伴ってこそそのキャリア教育である。コロナ禍において、今後は取組の工夫をしたい。



## 開かれた学校づくり（15）～（16）

（15）学校だよりや学年だより、学校ホームページなどを通じて学校生活のようすがわかりやすく伝えられていると思いますか。

生徒	保護者	教員
63%	76%	89%

(16) 学校公開、保護者会、三者面談等は、学校と保護者が生徒の成長に関する情報を共有し、連携する機会となっていますか。

生徒	保護者	教員
77%	83%	78%

### ○開かれた学校づくり

学校だより、学年だより、給食だより、保健だより、給食だより、学級通信、生活指導だより、図書だより、その他、そして学校ホームページ等で情報の提供は多岐にわたって実施していると考えます。

しかし、今のコロナ禍での状況から、学校のようにすをより詳しく、具体的に伝えていくためには、ICT機器の活用充実を含めた工夫と改善も必要と考えます。

その他に、学校公開、保護者会、三者面談等は、学校と保護者が生徒の成長に関する情報を共有し、連携する機会にはなっているという高い数値が出ている。やはり、適切な機会を通じて学校と家庭がしっかりと向き合って連絡、相談、報告、確認という場を意識してもつことはコロナ禍においても必要である。ぜひご協力を頂きたい。

### 小中一貫教育 (17)

(17) コロナ禍により、小学生に向けた学校や部活動を紹介するDVDを作成したことを知っていますか。

生徒	保護者	教員
70%	46%	72%

### ○小中一貫教育について

今年度はコロナ禍により小中一貫教育に関する、小中の連携した取組をほとんど実施することができませんでした。そのための「苦肉の策」として工夫したのが学校や中学校生活、部活動の紹介、説明につながるDVDの制作への取り組みでした。

具体的な取り組みができない中での工夫。結果として生まれたのが生徒会本部役員会や各部を中心としたDVD制作の取り組みでした。

連携小学校から、6年生たちは制作したDVDをしっかりと集中して見ていた、有意義だったという感想も頂きました。また、学校評議員会の中でもDVDは中学校のようすを知ってもらうためにも効果的だったと評価されました。

今後もこの小中の連携のようすについては小中一貫教育だより等による情報の提供とともに、画像、映像等による周知を行っていきたい。

### ～その他情報～

- ・体育館に空調設備設置
- ・3年生普通教室の照明がLED化
- ・コンピューター室の照明がLED化
- ・生徒用トイレの水道が自動水栓化
- ・4階第一学習室に扇風機設置
- ・生徒用タブレットの配付

